

第5回
「100年後も生き残ると思う日本企業」
調査

2018年9月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<http://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」調査

2. 調査方法

インターネット調査

3. 調査エリア

全国

4. 期間

2018年8月10日(金)～2018年8月15日(水)

5. 調査対象者

20～59歳の有職者男女個人

60～69歳の男女個人

6. 調査対象企業と選定方法

年間売上2,500億円以上、従業員数5,000人以上の企業200社を抽出

7. 有効回収数

1,000サンプル

8. 回答者の属性

性別・年代 平均44.92歳

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
合計	200	200	200	200	200	1,000

地域

北海道	東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	合計
37	45	453	135	204	65	61	1,000

1. 調査結果

[1] 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」アンケート／ランキング結果

第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」アンケートのランキング1位は「トヨタ自動車」(回答率 38.4%)であった。次いで「本田技研工業(ホンダ)」が2位(同 17.0%)、「パナソニック」が3位(同 16.0%)となり、以下「ソニー」(同 13.2%)、「日産自動車」(同 12.2%)、「東日本旅客鉄道(JR 東日本)」(同 11.7%)、「全日空(ANA)」(同 11.7%)、「味の素」(同 11.6%)、「日清食品」(同 11.4%)と続いた。(図表A)

業種としては、自動車製造業3社(トヨタ自動車、本田技研工業(ホンダ)、日産自動車)、電気機器製造業4社(パナソニック、ソニー、キヤノン、日立製作所)、食料品製造業4社(味の素、日清食品、サントリー、キッコーマン)など、製造業がトップ 20 のうち 15 社を占めた。また、製造業以外では、鉄道業の2社(東日本旅客鉄道(JR 東日本)、東海旅客鉄道(JR 東海))、航空運輸業の2社(全日本空輸(ANA)、日本航空(JAL))がランクインした。

上位5位は、自動車製造業および、電気機器製造業が独占しており、高品質・高機能の日本ブランドを確立し、今日まで日本経済を牽引してきた自動車、電機メーカーに対し、引き続き、期待が寄せられていることがうかがえる結果となった。

なお、トップ 100 については図表Bにまとめた。

前回の調査結果と比較したところ、「トヨタ自動車」、「本田技研工業(ホンダ)」の上位2社に変化はなく、第1回調査から5年連続で不動の順位となった。一方で、「日本航空(JAL)」(前回 20 位→今回 11 位)、「任天堂」(前回 23 位→今回 14 位)、「全日本空輸(ANA)」(前回 14 位→今回 6 位)、「資生堂」(前回 25 位→今回 17 位)、「帝国ホテル」(前回 27 位→今回 20 位)など 11 社が順位を上げ、「ブリヂストン」(前回 11 位→今回 18 位)、「東海旅客鉄道(JR 東海)」(前回 7 位→今回 12 位)など6社がそれぞれ順位を下げた結果となった。

前回調査との比較では、「日本航空(JAL)」、「全日本空輸(ANA)」の航空会社2社や「任天堂」、「帝国ホテル」のランクアップが目立っている。日本政府が観光政策を推進し、訪日外国人旅行者数が過去最高を記録する中で、インバウンド需要の恩恵を受ける航空会社やホテル、外国人からの人気も高いアニメ・ゲームに関わるゲーム会社などの評価が高まり、日本経済の新たな牽引役のひとつとして、期待が寄せられていることがうかがえる結果となった。

[2] 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」アンケート／選択理由

選択した理由を自由回答で尋ねたところ、ランキング1位の「トヨタ自動車」では、「世界的ブランドを有している」、「最先端技術を開発している」、「良い車をつくっている」といった評価が多く、2位の「本田技研工業(ホンダ)」及び3位の「パナソニック」では、「技術力が高い」、「創業者の経営理念が受け継がれている」などが挙げられた。

このほか、上位ランクイン企業の選択理由として多く見られた評価としては、「世界レベルの技術力、商品開発力を有している」、「世界での知名度の高さ」、「創業者の経営理念が引き継がれ

ている」、「生活に必要なインフラを提供」などが挙げられ、経営理念に基づき、高品質な製品、サービスを提供し続けている企業が、100年後も生き残る企業として期待されている結果となった。(図表C)

[3] 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」アンケート／重視するイメージ

同時に「100年後も生き残ると思う日本企業」に重視するイメージを聞いたところ、[2]の選択理由に見られたように、「技術力」を挙げる回答が43.3%と最も多かった。次いで「製品・商品の品質」(回答率38.0%)となっており、上位2項目までは前回と変わらない結果となった。3位以下は、「独創性」(25.5%)、「ニーズ」(同24.1%)、「経営理念・姿勢」(同21.8%)、「誠実さ」(同20.9%)の順となり、「独創性」が2ランクアップした。技術力を駆使し、高品質な製品・サービスを提供する企業や独創性のあふれる製品・サービスを展開する企業が、100年後も生き残る企業として考えられている結果となった。(図表D)

2. 調査データとの比較

[1] 10年間高格付維持企業、創業年数との比較

今回のランキング上位20社の格付推移および創業年数を調査したところ、全体の8割以上が10年間高格付を維持している優良企業に該当している。上位20社の中で100年以上の業歴を有しているのは、「パナソニック」、「日産自動車」、「味の素」、「サントリー」、「任天堂」、「TOTO」、「キッコーマン」、「資生堂」、「日立製作所」、「帝国ホテル」の10社であり、上位20社全てが業歴65年を超え、平均業歴は95年という老舗企業群となった。

また、上位20社においては、相応の純資産額と自己資本比率を有していることが確認できる。長い業歴の中で安定した事業基盤、財政基盤を築き上げている企業が、100年後も生き残る企業として考えられている結果となった。(図表E, F)

[2] 営業キャッシュフロー額、投資キャッシュフロー額の比較

「100年後も生き残る企業」と判断される一因として、良好な業績を安定的に維持していることが考えられることから、キャッシュフローの観点から、本業での稼ぐ力と持続的成長に向けての投資状況を確認すべく、ランキング上位20社(連結)の営業キャッシュフロー額および投資キャッシュフロー額の直近5期平均を比較した。

ランキング上位20社全ての企業において、営業キャッシュフロー額はプラス、投資キャッシュフロー額はマイナスとなっており、本業の営業活動で獲得した資金を投資活動に投下していることが確認できる。特に、今回調査にて5年連続1位となった「トヨタ自動車」では、営業キャッシュフロー額、投資キャッシュフロー額ともに、3兆円を超えており、収益力や投資活動の状況は、ランキング上位20社の中で群を抜いている。「トヨタ自動車」以外にも、「本田技術工業(ホンダ)」、「サントリー」、「日立製作所」を中心に、多くの企業で投資活動への積極的な資金投下が見受けられることを考慮すれば、今後100年間継続すると思われる企業においては、長きにわたり事業が存続していくイメージが、将来の成長のための投資に裏打ちされていることがうかがえよう。(図表G)

3. 総評

業歴1,400年超を誇る日本最古の企業「株式会社金剛組」のように、法人は我々人間と異なり、半永久的に存続することが可能である。しかし、実際には、業歴100年を超える企業の数全体の0.5%に満たない状態にあり、長きにわたり企業を存続させていくことの難しさを表している。本アンケート調査は、かかる背景のもと、今後100年間生き続けることができると思う日本企業のイメージ調査であり、その調査結果をみると、「100年後も生き残る」と考えられている企業像とは、「高い技術力を有し、人々から評価される製品を提供している製造業を中心とした企業」ということがいえよう。さらに、5回目を迎える今回においても、過去4回と同様に製造業の上位ランクインが目立っており、日本経済を支える産業として、製造業に寄せられる期待が大きいこともうかがえる。

「人々から評価される製品」を提供し続けることは、容易ではない。本アンケート調査で上位にランクインし、今年創業100年を迎えた「パナソニック」は、創業初製品であるアタッチメントプラグが100年後の今日においても売れ続けているほか、生活家電、PC、スマートフォンを製造し、人々からの支持を得ている。100年後も生き残るためには、100年間の移り変わりの中で、ニーズや価値観の変化を見定め、先取りする力が必要といえる。

2[2]において、上位20社のうち業歴100年を超えている企業10社が、本業で獲得した資金を積極的に投資に振り向けている様子が見え、100年後も生き残るためには、足元の稼ぎを投資に活用し、将来の利益獲得につなげることが重要であるといえよう。

本アンケート調査の上位ランクイン企業を中心に、既存の「技術力」、「製品・サービス」に胡坐をかきことなく、これから起こり得る変化を見据え、人々のニーズに柔軟に対応することで、少しでも多くの企業が100年後も活躍していることを願いたい。

図表A 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」アンケート／ランキングベスト20

(n=1,000／複数回答)

順位	変動	企業名	都道府県	業種	回答率
1	→ (0)	トヨタ自動車	愛知県	自動車製造業	38.4%
2	→ (0)	本田技研工業(ホンダ)	東京都	自動車製造業	17.0%
3	↑ (+2)	パナソニック	大阪府	電気機器製造業	16.0%
4	↑ (+2)	ソニー	東京都	電気機器製造業	13.2%
5	↓ (▲2)	日産自動車	神奈川県	自動車製造業	12.2%
6	↓ (▲3)	東日本旅客鉄道(JR東日本)	東京都	鉄道業	11.7%
6	↑ (+8)	全日本空輸(ANA)	東京都	航空運輸業	11.7%
8	↑ (+1)	味の素	東京都	食料品製造業	11.6%
9	↑ (+1)	日清食品	東京都	食料品製造業	11.4%
10	↓ (▲2)	サントリー	大阪府	飲食料品等製造業	11.2%
11	↑ (+9)	日本航空(JAL)	東京都	航空運輸業	11.0%
12	→ (0)	キヤノン	東京都	電気機器製造業	10.7%
12	↓ (▲5)	東海旅客鉄道(JR東海)	愛知県	鉄道業	10.7%
14	↑ (+9)	任天堂	京都府	娯楽用具・がん具製造業	10.6%
15	↓ (▲3)	TOTO	福岡県	衛生陶器製造業	10.2%
16	↑ (+1)	キッコーマン	東京都	食料品製造業	9.7%
17	↑ (+8)	資生堂	東京都	化粧品製造業	9.4%
18	↓ (▲7)	ブリヂストン	東京都	ゴム製品製造業	9.3%
18	↑ (+2)	日立製作所	東京都	電気機器製造業	9.3%
20	↑ (+7)	帝国ホテル	東京都	宿泊業	9.1%

図表B 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」アンケート／ランキングベスト100

(n=1,000／複数回答)

順位	企業名	回答率	順位	企業名	回答率
1	トヨタ自動車	38.4%	52	小松製作所(コマツ)	5.6%
2	本田技研工業(ホンダ)	17.0%	52	日本電気(NEC)	5.6%
3	パナソニック	13.2%	52	関西電力	5.6%
4	ソニー	16.0%	55	ダイキン	5.5%
5	日産自動車	12.2%	55	中部電力	5.5%
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	11.7%	55	楽天	5.5%
6	全日本空輸(ANA)	11.7%	55	日本郵船	5.5%
8	味の素	11.6%	59	ニコン	5.4%
9	日清食品	11.4%	60	山崎製パン	5.3%
10	サントリー	11.2%	60	伊藤園	5.3%
11	日本航空(JAL)	11.0%	62	鹿島建設	5.2%
12	キヤノン	10.7%	62	清水建設	5.2%
12	東海旅客鉄道(JR東海)	10.7%	62	丸紅	5.2%
14	任天堂	10.6%	65	クボタ	5.1%
15	TOTO	10.2%	66	日本経済新聞社	5.0%
16	キッコーマン	9.7%	67	大成建設	4.9%
17	資生堂	9.4%	67	旭硝子	4.9%
18	ブリヂストン	9.3%	67	オリンパス	4.9%
18	日立製作所	9.3%	67	シャープ	4.9%
20	帝国ホテル	9.1%	67	三井住友銀行	4.9%
21	西日本旅客鉄道(JR西日本)	8.8%	72	東京急行電鉄(東急)	4.8%
22	明治	8.7%	72	イオン	4.8%
23	キューピー	8.6%	72	オリエンタルランド	4.8%
24	NTTドコモ	8.4%	75	川崎重工業	4.7%
24	セブン-イレブン	8.4%	75	デンソー	4.7%
26	花王	8.0%	77	東レ	4.6%
26	富士フイルム	8.0%	77	アシックス	4.6%
26	ヤマト運輸	8.0%	77	みずほ銀行	4.6%
29	ヤクルト	7.9%	80	グリコ	4.5%
29	三菱商事	7.9%	80	東芝	4.5%
31	三井物産	7.6%	80	ヤフー	4.5%
32	武田薬品	7.1%	80	日本生命	4.5%
32	日本電信電話(NTT)	7.1%	84	リコー	4.4%
34	アサヒビール	7.0%	84	三菱電機	4.4%
35	麒麟ビール	6.9%	84	大阪ガス	4.4%
35	日本放送協会(NHK)	6.9%	84	YKK AP	4.4%
37	ヤマハ	6.7%	88	三菱化学	4.3%
37	伊藤忠商事	6.7%	88	カシオ計算機	4.3%
39	富士通	6.5%	90	ワコール	4.2%
39	住友商事	6.5%	90	スズキ	4.2%
41	三菱重工	6.4%	90	KDDI	4.2%
41	ソフトバンク	6.4%	90	三菱地所	4.2%
43	京セラ	6.3%	94	大日本印刷(DNP)	4.1%
43	東京電力	6.3%	94	IHI	4.1%
45	カゴメ	6.2%	94	タニタ	4.1%
46	日本通運(日通)	6.1%	97	大林組	4.0%
47	森永乳業	6.0%	97	新日鉄住金	4.0%
48	大塚製薬	5.9%	97	セイコーエプソン	4.0%
48	三菱UFJ銀行	5.9%	97	サンリオ	4.0%
50	カルビー	5.8%	97	佐川急便	4.0%
50	東京ガス	5.8%	97	日本ハム	4.0%
52	旭化成	5.6%			

図表C 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」アンケート／ランキングベスト20 選択理由

ランク	企業名	選んだ理由	性別年代
1	トヨタ自動車	未来の車などに企画をしているから	男性20代
1	トヨタ自動車	他国と比べても優位にある技術を保有していると思われるため	男性20代
1	トヨタ自動車	先を見据えて技術開発を行っているから	男性20代
1	トヨタ自動車	絶えず変化している	男性20代
1	トヨタ自動車	世界中走っている	男性20代
1	トヨタ自動車	常に先手を取っているから	男性20代
1	トヨタ自動車	車社会が進行している中で常に業界のトップに立っているから	男性20代
1	トヨタ自動車	事業のやり方がうまい	男性20代
1	トヨタ自動車	技術力が高く、間違いなく心配ないから	男性20代
1	トヨタ自動車	企業努力	男性20代
1	トヨタ自動車	移動手段は大きく進歩することはないだろうし、トヨタは品質が高いから。	男性20代
1	トヨタ自動車	安定感	男性20代
1	トヨタ自動車	安心感と信頼があるから。	男性20代
1	トヨタ自動車	良い車を作っているから	男性30代
1	トヨタ自動車	物流は100年後もあるはず	男性30代
1	トヨタ自動車	売上高	男性30代
1	トヨタ自動車	世界に認められている車メーカーであるため	男性30代
1	トヨタ自動車	常に先端技術を研究しているから	男性30代
1	トヨタ自動車	車は必須	男性30代
1	トヨタ自動車	時代に対応していけそう	男性30代
1	トヨタ自動車	資金力	男性30代
1	トヨタ自動車	最先端技術を開発しているから	男性30代
1	トヨタ自動車	顧客のニーズに敏感だから	男性30代
1	トヨタ自動車	経営状態が比較的安定しているように思うから	男性30代
1	トヨタ自動車	技術力があるから	男性30代
1	トヨタ自動車	技術力があるから	男性30代
1	トヨタ自動車	規模	男性30代
1	トヨタ自動車	既に世界きぼだから	男性30代
1	トヨタ自動車	企業努力を感じる	男性30代
1	トヨタ自動車	一流だから	男性30代
1	トヨタ自動車	安定しているから	男性30代
1	トヨタ自動車	トヨタがないなら自動車がなくなっていると思う	男性30代
1	トヨタ自動車	トップだから	男性30代
1	トヨタ自動車	絶対王者	男性40代
1	トヨタ自動車	世界的ブランド	男性40代
1	トヨタ自動車	世界をリードする技術を持つから	男性40代
1	トヨタ自動車	世界のトヨタ	男性40代
1	トヨタ自動車	進化を続けている	男性40代
1	トヨタ自動車	進化する自動車産業	男性40代
1	トヨタ自動車	新しい価値を見出してそこに対応していそうだから	男性40代
1	トヨタ自動車	常に革新しているので	男性40代
1	トヨタ自動車	常に改善し、常に前進している。	男性40代
1	トヨタ自動車	将来性	男性40代
1	トヨタ自動車	需要がなくなるとは思えない	男性40代
1	トヨタ自動車	自動車分野で実績	男性40代
1	トヨタ自動車	自動車産業のなかでも盤石の存在感。	男性40代
1	トヨタ自動車	最先端技術をきちんとキャッチアップしている	男性40代
1	トヨタ自動車	競争力が高い	男性40代
1	トヨタ自動車	技術力や開発力がすぐれているから	男性40代
1	トヨタ自動車	技術力が高いから	男性40代

ランク	企業名	選んだ理由	性別年代
1	トヨタ自動車	技術力が高いから	男性40代
1	トヨタ自動車	技術力があるから	男性40代
1	トヨタ自動車	技術力	男性40代
1	トヨタ自動車	技術力	男性40代
1	トヨタ自動車	企業体力が大きいと思われるため	男性40代
1	トヨタ自動車	安定しているから。	男性40代
1	トヨタ自動車	これからも新しい技術をドンドン作っていきと考えられるから	男性40代
1	トヨタ自動車	体質がしっかりしている	男性50代
1	トヨタ自動車	世界の自動車産業を牽引してるから。	男性50代
1	トヨタ自動車	人材が豊富	男性50代
1	トヨタ自動車	信頼感があるから。	男性50代
1	トヨタ自動車	常に時代の変化に対応している。	男性50代
1	トヨタ自動車	借金がない	男性50代
1	トヨタ自動車	経営状態	男性50代
1	トヨタ自動車	技術力が有りの先も業界のトップである	男性50代
1	トヨタ自動車	技術力がある	男性50代
1	トヨタ自動車	技術力	男性50代
1	トヨタ自動車	規模と確かな技術力で企業責任を明確にしている	男性50代
1	トヨタ自動車	開発力があるから。	男性50代
1	トヨタ自動車	開発力、品質力など総合的にみて	男性50代
1	トヨタ自動車	やはり日本のうり	男性50代
1	トヨタ自動車	販売力	男性60代
1	トヨタ自動車	大企業	男性60代
1	トヨタ自動車	存在感	男性60代
1	トヨタ自動車	全ての総合力が世界基準で秀でており、如何なる世の中の変化、変貌にも対応出来ると思うから。	男性60代
1	トヨタ自動車	世界的に看板方式や5S活動で日々無駄な経費や改善活動で効率よく生産をしているから	男性60代
1	トヨタ自動車	世界シェアが大きい	男性60代
1	トヨタ自動車	将来のビジョンがしっかりしている	男性60代
1	トヨタ自動車	実績	男性60代
1	トヨタ自動車	自動車業界をリードしている。	男性60代
1	トヨタ自動車	自動車会社も淘汰されるが、他のメーカーを支配する。	男性60代
1	トヨタ自動車	時代に合わせる柔軟性を持っている。	男性60代
1	トヨタ自動車	資金が潤沢で対応力がある。	男性60代
1	トヨタ自動車	経営、取り組み姿勢	男性60代
1	トヨタ自動車	技術力と営業力に優れている	男性60代
1	トヨタ自動車	技術力、開発力に優れている	男性60代
1	トヨタ自動車	技術力	男性60代
1	トヨタ自動車	環境の変化や顧客のニーズの変化をしっかり把握し、独自の考えで会社方針を示して、それを実行する行動力がある	男性60代
1	トヨタ自動車	トヨタが倒れるときは日本沈没です	男性60代
1	トヨタ自動車	日本でダメになっても海外で生き残れそうだから	女性20代
1	トヨタ自動車	伝統があるから	女性20代
1	トヨタ自動車	世界のTOYOTAと呼ばれているから	女性20代
1	トヨタ自動車	世界でもトップシェアの企業であり、今後も車は一定の需要があると思うから。	女性20代
1	トヨタ自動車	新しい技術の開発に熱心だから	女性20代
1	トヨタ自動車	高い技術力があると思うから。	女性20代
1	トヨタ自動車	エコカーなど多様性があり、時代に合わせて進化していきそうだから。	女性20代

ランク	企業名	選んだ理由	性別年代
1	トヨタ自動車	世界シェア	女性30代
1	トヨタ自動車	常に向上している	女性30代
1	トヨタ自動車	常に革新を追い求めているから。	女性30代
1	トヨタ自動車	商品開発に柔軟性があるから	女性30代
1	トヨタ自動車	環境整備が整った新たなサービスを提供していると思うから。	女性30代
1	トヨタ自動車	改革をつねにしている	女性30代
1	トヨタ自動車	一番最初に思い浮かんだのと、やっぱりこの名前ですずっと残り続けるイメージがわくので	女性30代
1	トヨタ自動車	それだけの実力があると思うから	女性30代
1	トヨタ自動車	歴史があるので	女性40代
1	トヨタ自動車	力があることを常に実証し続けている	女性40代
1	トヨタ自動車	良いものを作っている	女性40代
1	トヨタ自動車	日本の得意分野だから	女性40代
1	トヨタ自動車	日本でも世界でも活躍しているから	女性40代
1	トヨタ自動車	地球環境を改善する為ガソリン自動車が無くなりハイブリッド車又は電気自動車製造をリードする企業と思うから	女性40代
1	トヨタ自動車	大企業だから	女性40代
1	トヨタ自動車	世界でも稼ぐことができるので	女性40代
1	トヨタ自動車	世界シェアが高い	女性40代
1	トヨタ自動車	常に新しい技術を開発しようとしているから	女性40代
1	トヨタ自動車	車は移手段のひとつでなくなる可能性がない	女性40代
1	トヨタ自動車	車はなくなる	女性40代
1	トヨタ自動車	技術力が優れているから。	女性40代
1	トヨタ自動車	技術力があるから	女性40代
1	トヨタ自動車	技術力、先行投資、展望、経営陣	女性40代
1	トヨタ自動車	技術	女性40代
1	トヨタ自動車	安定性	女性40代
1	トヨタ自動車	いつもトップを走っているから	女性40代
1	トヨタ自動車	世界的に知名度がある	女性50代
1	トヨタ自動車	経営力	女性50代
1	トヨタ自動車	勤勉で誠実だと感じているから	女性50代
1	トヨタ自動車	技術力があるので	女性50代
1	トヨタ自動車	技術、社会貢献どれをとってもすぐれている。	女性50代
1	トヨタ自動車	規模	女性50代
1	トヨタ自動車	企業力がある	女性50代
1	トヨタ自動車	改善に積極的	女性50代
1	トヨタ自動車	もちろん技術力	女性50代
1	トヨタ自動車	メーカーなので	女性50代
1	トヨタ自動車	クルマの進化が世界に影響している	女性50代
1	トヨタ自動車	100年後でも自動車は必用だから	女性50代
1	トヨタ自動車	利益追求を徹底した社員教育	女性60代
1	トヨタ自動車	優れた技術	女性60代
1	トヨタ自動車	日本企業のトップだから	女性60代
1	トヨタ自動車	日本を代表する企業	女性60代
1	トヨタ自動車	組織力	女性60代
1	トヨタ自動車	世界の中で、実力があると思うから	女性60代
1	トヨタ自動車	世界に輸出してるから	女性60代
1	トヨタ自動車	自動車は日々進化している。	女性60代
1	トヨタ自動車	今の規模、実績からみて	女性60代

ランク	企業名	選んだ理由	性別年代
1	トヨタ自動車	技術革新など将来も対応できるから	女性60代
1	トヨタ自動車	技術開発が優れてる	女性60代
1	トヨタ自動車	企業体として存続していけそうに思う。	女性60代
1	トヨタ自動車	テレビその他で良く言われてる	女性60代
2	本田技研工業(ホンダ)	名機が多い	男性20代
2	本田技研工業(ホンダ)	自動車技術が優れているから	男性20代
2	本田技研工業(ホンダ)	好きだから	男性30代
2	本田技研工業(ホンダ)	その道のプロとしての技術があるから	男性30代
2	本田技研工業(ホンダ)	創業者の理念が引き継がれている	男性50代
2	本田技研工業(ホンダ)	技術力があるから	男性60代
2	本田技研工業(ホンダ)	技術力	男性60代
2	本田技研工業(ホンダ)	技術力	男性60代
2	本田技研工業(ホンダ)	エンジン技術	女性40代
2	本田技研工業(ホンダ)	創造性がある	女性50代
2	本田技研工業(ホンダ)	日々新しい技術を開発し、提供しているから。	女性60代
2	本田技研工業(ホンダ)	技術力がある	女性60代
2	本田技研工業(ホンダ)	ホンダあたりを基準に景気云々を語るため	女性60代
2	本田技研工業(ホンダ)	バイクの性能で残れると思う	女性60代
2	本田技研工業(ホンダ)	バイク	女性60代
3	パナソニック	電機工業会社だから	男性20代
3	パナソニック	技術力と経営理念	男性20代
3	パナソニック	技術があるから	男性20代
3	パナソニック	すごいから	男性20代
3	パナソニック	すでに歴史がある	男性30代
3	パナソニック	後世に残せそうな高い技術力を持っているイメージがあるから。	男性40代
3	パナソニック	世界的な技術力があるから	男性50代
3	パナソニック	世界的シェアを持つ	男性60代
3	パナソニック	世界に誇れる電機メーカー	男性60代
3	パナソニック	資本力をバックに躍進	男性60代
3	パナソニック	技術力	男性60代
3	パナソニック	売れているから	女性20代
3	パナソニック	歴史がありながら、時代に合わせた良い商品を生み出し続けているから	女性30代
3	パナソニック	好きなメーカー	女性30代
3	パナソニック	どんどん進化しているのもあるが、安全性が保たれていると感じるので。	女性30代
3	パナソニック	質が良い	女性40代
3	パナソニック	すごいから	女性40代
3	パナソニック	飽くなき新しいものへの挑戦をしていそうだから	女性50代
3	パナソニック	電化製品は進化し続けると思う	女性50代
3	パナソニック	松下幸之助の経営理念	女性50代
3	パナソニック	自分が働いているから	女性50代
3	パナソニック	創業者の教えで	女性60代
3	パナソニック	新しいことに前向きで、挑戦している	女性60代
3	パナソニック	技術力	女性60代
3	パナソニック	企業の経営理念がうけつがられている。	女性60代
4	ソニー	有名だから	男性20代
4	ソニー	時代に合った商品を作っているから	男性20代
4	ソニー	競争に生き残れそうだから。	男性20代
4	ソニー	ゲーム	男性20代
4	ソニー	独自の製品開発をしているイメージがあるから	男性30代

ランク	企業名	選んだ理由	性別年代
4	ソニー	ゲームは無くならないと思う	男性30代
4	ソニー	日本人の心	男性40代
4	ソニー	商品の魅力が高い	男性40代
4	ソニー	技術に確固たる自信を持っているから	男性40代
4	ソニー	開発力が素晴らしいので。	男性40代
4	ソニー	技術力がある	男性50代
4	ソニー	幅広い業種がある。	男性60代
4	ソニー	独自のアイデアと技術力	男性60代
4	ソニー	世界的な映像技術	男性60代
4	ソニー	システムが伸びるとおもうので	女性20代
4	ソニー	製品が有名だから	女性30代
4	ソニー	技術的に最先端を行けるのはソニーだけな気がする	女性30代
4	ソニー	これまでの業績、世界的シェアから	女性30代
4	ソニー	技術力	女性50代
4	ソニー	経営理念を守ってほしいから	女性60代
5	日産自動車	伝統	男性60代
5	日産自動車	100%電気で走れる車がある。	男性60代
5	日産自動車	有名だから	女性40代
5	日産自動車	有名だから	女性40代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	社会インフラであるため	男性20代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	なくてはならないので	男性20代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	必要だから	男性30代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	サービス性 技術性などを海外に売り込んでいるから	男性30代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	ないと困るから	男性40代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	インフラは、なくなる	男性40代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	大量移動しなくなる。	男性50代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	設備産業でもあり、輸送サービスニーズは100年後もあり続けると思うから	男性50代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	時間に正確	男性50代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	なくなると多くの人間が困るインフラ	男性50代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	日本国内の交通がなくなるので、その統合するまでの営業・技術力を保有している企業だから	男性60代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	安全性	男性60代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	日本の鉄道はすごいから	女性20代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	電車は無くならない気がしたから	女性20代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	JRは誰もが使うので無くなること自体が無いと思う	女性20代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	鉄道はなくなる	女性30代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	鉄道だから	女性30代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	電車はあるでしょう	女性40代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	電車なので	女性40代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	新幹線はずっと必要だと思うから	女性40代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	鉄道はなくなる	女性50代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	鉄道は、日本の朝	女性50代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	物流、人の移動の基盤となっているから。東京などの首都圏を含んでいるから。	女性60代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	安定	女性60代
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	インフラはいつも必要だから	女性60代
6	全日本空輸(ANA)	海国日本では海外に行くには飛行機しかない	男性20代
6	全日本空輸(ANA)	飛行機の大手だから。	男性30代
6	全日本空輸(ANA)	必要不可欠なので	男性60代
6	全日本空輸(ANA)	安定しているから	女性30代
8	味の素	食べ物100年後でもみんな食べるから	男性20代
8	味の素	独自性がある	男性30代

ランク	企業名	選んだ理由	性別年代
8	味の素	伝統的な感じがするので	男性30代
8	味の素	食を扱うという強みですね 品質 問題の低さ 全国への認知度 人気 いずれも好印象	男性50代
8	味の素	時代ば味を追求	男性60代
8	味の素	食べ物はそう廃れない	女性20代
8	味の素	食は変わらないと思うから	女性30代
8	味の素	世界中でうれている	女性50代
8	味の素	やはり主婦としての願望ですね。	女性60代
9	日清食品	日本の誇れる食料で、お湯だけあれば作れるから、世界にも通用すると思うため	男性40代
9	日清食品	生活に欠かせない食と、その食を簡便化することに貢献している。商品もバラエティに富んでいて常に話題性がある。	女性20代
9	日清食品	次から次へとすごい冷凍食品を生み出しているから	女性30代
9	日清食品	食品は需要がなくなるらない	女性40代
9	日清食品	食べる事は人間が生きる上で最後まで必要な手段なので、食品関係は生き残ると思いますし、今までも歴史があるので、企業として生き残っていくノウハウを持っているのではないかと感じたためです。	女性40代
9	日清食品	安心	女性40代
9	日清食品	カップヌードルは今や世界的に人気がありその技術力で今後も生き残っていけると思う	女性50代
9	日清食品	食品関係は不況にも強いと思う。新製品を開発する技術力、発想力もあると思うので。	女性60代
10	サントリー	品質が最高基準であり続けているから	男性30代
10	サントリー	技術力	男性30代
10	サントリー	競争相手が比較的少ない	男性40代
10	サントリー	食の企業。	男性60代
10	サントリー	創業からなんから何年もたっているのにずっと前進している	女性50代
10	サントリー	飲料だけでなく他分野にも伸ばしている	女性50代
10	サントリー	いろいろな分野に進出してきた	女性50代
10	サントリー	社会から支持される活動をしている。	女性60代
10	サントリー	人々の生活に近い、食品、薬品の会社は残るかなと思った。あと、サントリーホールがなくなってほしくない。	女性60代
11	日本航空(JAL)	残らないはずがない	男性50代
11	日本航空(JAL)	業界の1位企業なら残りそう。JALは国も関わっているから。	女性60代
12	キヤノン	対応力	男性50代
12	キヤノン	技術のキヤノン	男性50代
12	キヤノン	今の経営姿勢理念が、永続的、持続的に維持されることが大前提だが	男性60代
12	キヤノン	新しい機械とかも開発して生き残りそう	女性20代
12	キヤノン	最先端	女性30代
12	キヤノン	安定	女性40代
12	東海旅客鉄道(JR東海)	安定した経営基盤があるから。また、人の移動はどの時代でもあり、今後も変わることがないから。	男性20代
12	東海旅客鉄道(JR東海)	新幹線の技術とリニアで生き残ると思う	男性40代
12	東海旅客鉄道(JR東海)	リニア新幹線	男性40代
12	東海旅客鉄道(JR東海)	100年後もリニアなど高速鉄道は生き残っているのではと考えるから。	男性40代
12	東海旅客鉄道(JR東海)	世界最高密度の新幹線運行しかも無事故	男性50代
12	東海旅客鉄道(JR東海)	安定してるから	女性60代
14	任天堂	すごい	男性30代
14	任天堂	ゲームメーカーの最大手だから	男性30代
14	任天堂	オリジナリティーが強いから。	男性30代

ランク	企業名	選んだ理由	性別年代
14	任天堂	技術力が安定している	男性40代
14	任天堂	何十年も面白いゲームを作り続けてきているため	男性40代
14	任天堂	アイデアがあるので	男性40代
14	任天堂	企業としてのパワー	男性50代
14	任天堂	変化への対応力がある	男性60代
14	任天堂	日本の文化を作ってきたから	女性20代
14	任天堂	世界中で愛されているから	女性20代
14	任天堂	新たなエンターテインメントを提供できるから	女性20代
14	任天堂	株価が安定しているから	女性20代
14	任天堂	ゲームはいつの時代も必要	女性20代
14	任天堂	ゲームが好きな人は多いから	女性20代
14	任天堂	いろんなゲームが人気だから	女性20代
14	任天堂	「娯楽」にかかる費用は変化していくと思われるが、子供だけではなく大人も宗教も関係なく遊べるゲームを作っている任天堂なら生き抜けるのではないかと感じる。	女性20代
14	任天堂	伝統を守りつつ、常に前を見据えている	女性30代
14	任天堂	地盤がしっかりしてそう	女性30代
14	任天堂	財務体制もさることながら作りだすものがクリエイティブでAIなどにも取って代われないと思うから	女性30代
14	任天堂	開発力	女性30代
14	任天堂	ゲームも進化続けると思うし、どの世代でも愛されそうだから。	女性30代
14	任天堂	ゲームは強いと思う	女性30代
14	任天堂	老若男女楽しめるゲームを提供している	女性40代
14	任天堂	娯楽は減びない	女性40代
14	任天堂	顧客を大事にしているから	女性40代
14	任天堂	なにか新しいものを作っていそう	女性40代
14	任天堂	ゲームはずっと残るから	女性40代
14	任天堂	世界に認められているゲームを産み出している会社だから。	女性50代
15	TOTO	トイレはTOTOのイメージがあるから	男性20代
15	TOTO	生活に欠かせない便器など何年たっても必要なものであり、世界でも認められている技術があるので	男性30代
15	TOTO	いつの時代の人も排泄は必ずするから	男性30代
15	TOTO	技術力を高める努力を欠かさず、常に最前線にしようとする経営理念は、100年後も生き残るために必須であり、この企業はそれを持っている。	男性40代
15	TOTO	技術がすごい	男性40代
15	TOTO	生活に必要な商品を取り扱っている。先進的な技術力	男性60代
15	TOTO	トイレはTOTO。トイレは絶対に消えない必需品	女性20代
15	TOTO	商品の一つ一つにこだわりを持って、丁寧に仕上げているから	女性40代
15	TOTO	独創的な技術が有り、安定した業績を出しているから	女性50代
15	TOTO	生活必需品、進化し続ける	女性50代
15	TOTO	開発力	女性50代
15	TOTO	100年たっても便器は必要と思うから	女性50代
15	TOTO	日本のトイレが世界中に普及するかも	女性60代
15	TOTO	人間の一番大切な問題を快適にする研究をしているから。	女性60代
16	キッコーマン	凄い	男性50代
16	キッコーマン	既に様々な国で商品が販売されているから	女性30代
16	キッコーマン	食品産業は絶対なくならない	女性40代
16	キッコーマン	今でも歴史があるのでこの先も続きそう。	女性40代
16	キッコーマン	食料品だから	女性50代
16	キッコーマン	醤油は100年後も使われていそう	女性50代

ランク	企業名	選んだ理由	性別年代
17	資生堂	女性がいるかぎり、化粧品はやはり永遠にあるでしょうから。	男性50代
17	資生堂	地道な技術開発を行っている	男性60代
17	資生堂	美を追求している企業です。	女性20代
17	資生堂	人気がある	女性20代
17	資生堂	女性の美に対する情熱は普遍的なものだと思うので	女性20代
17	資生堂	信頼できる	女性30代
17	資生堂	化粧品はいつの時代も必要で代替えがない	女性30代
17	資生堂	歴史があるし製品が良い	女性50代
17	資生堂	美の追求は永遠	女性50代
17	資生堂	伝統があり生活になくてはならないもの。長年業界をリードしている。	女性50代
18	ブリヂストン	安定している	男性20代
18	ブリヂストン	技術力と品質	男性50代
18	ブリヂストン	自動車が変わってもタイヤは必要	男性60代
18	ブリヂストン	業績	男性60代
18	日立製作所	暮らしに無くてはならないものを作っているから	男性40代
18	日立製作所	技術力	男性50代
18	日立製作所	グループ会社が様々な分野に進出している。	男性50代
18	日立製作所	あらゆる分野での技術の集約が可能だ	男性50代
18	日立製作所	総合力	男性60代
18	日立製作所	技術力がある	女性60代
20	帝国ホテル	日本で最も歴史があり色々なイベントを行ったり、結婚式を挙げるなら帝国ホテルでという声も聞かれ一流の価値あるホテルだから	男性40代
20	帝国ホテル	歴史が有るから	男性50代
20	帝国ホテル	日本の心が溢れているから	女性20代
20	帝国ホテル	サービスがよい	女性20代
20	帝国ホテル	歴史のある由緒正しい企業というイメージが強いため。	女性30代
20	帝国ホテル	伝統がある	女性30代
20	帝国ホテル	素晴らしい接客だから	女性30代
20	帝国ホテル	今までの歴史があるから	女性30代
20	帝国ホテル	これまでの100年と同じように100年を過ごせると思うから	女性30代
20	帝国ホテル	売っているものが物じゃないから	女性40代
20	帝国ホテル	伝統と格式は年月がものをいうから	女性40代
20	帝国ホテル	歴史を重ねていけると思ったので	女性50代
20	帝国ホテル	品質の高いサービスを提供しているから	女性50代
20	帝国ホテル	観光産業は今後も需要がありそう	女性50代
20	帝国ホテル	歴史のある建物と精神を続けて欲しいため	女性60代
20	帝国ホテル	歴史がある	女性60代
20	帝国ホテル	サービスがよいから	女性60代
20	帝国ホテル	サービスが充実しているから	女性60代

図表D 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」アンケート／重視するイメージ

(n=1,000／複数回答)

今回 順位	前回 順位	変動	重視するイメージ	今回 回答率(%)	前回 回答率(%)	変動幅
1	1	→ (0)	技術力	43.3	44.5	▲1.2Pt.
2	2	→ (0)	製品・商品の品質	38.0	36.9	+1.1Pt.
3	5	↑ (+2)	独創性	25.5	21.4	+4.1Pt.
4	4	→ (0)	ニーズ	24.1	23.6	+0.5Pt.
5	3	↓ (-2)	経営理念・姿勢	21.8	25.4	▲3.6Pt.
6	6	→ (0)	誠実さ	20.9	21.1	▲0.2Pt.
7	7	→ (0)	業界シェア	20.2	19.9	+0.3Pt.
8	8	→ (0)	サービス力	19.7	17.6	+2.1Pt.
9	13	↑ (+4)	ビジネスモデル	18.7	13.3	+5.4Pt.
10	11	↑ (+1)	歴史・伝統	16.2	16.1	+0.1Pt.
11	12	↑ (+1)	資本力	15.2	16.0	▲0.8Pt.
12	9	↓ (-3)	企業規模	15.2	17.5	▲2.3Pt.
13	10	↓ (-3)	社会貢献	14.5	17.5	▲3.0Pt.
14	14	→ (0)	勤勉性	12.1	11.6	+0.5Pt.

図表E 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」／10年間高格付維持企業

順位	企業名	都道府県	業種	10年間 高格付維持
1	トヨタ自動車	愛知県	自動車製造業	○
2	本田技研工業(ホンダ)	東京都	自動車製造業	○
3	パナソニック	大阪府	電気機器製造業	○
4	ソニー	東京都	電気機器製造業	○
5	日産自動車	神奈川県	自動車製造業	○
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	東京都	鉄道業	○
6	全日本空輸(ANA)	東京都	航空運輸業	
8	味の素	東京都	食料品製造業	○
9	日清食品	東京都	食料品製造業	○
10	サントリー	大阪府	飲食料品等製造業	
11	日本航空(JAL)	東京都	航空運輸業	
12	キヤノン	東京都	電気機器製造業	○
12	東海旅客鉄道(JR東海)	愛知県	鉄道業	○
14	任天堂	京都府	娯楽用具・がん具製造業	○
15	TOTO	福岡県	衛生陶器製造業	○
16	キッコーマン	東京都	食料品製造業	○
17	資生堂	東京都	化粧品製造業	○
18	ブリヂストン	東京都	ゴム製品製造業	○
18	日立製作所	東京都	電気機器製造業	○
20	帝国ホテル	東京都	宿泊業	○

図表F 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」／ランキングベスト20(単体) 創業年数・純資産額・自己資本比率

順位	企業名	創業年数	純資産額	自己資本比率	決算期
1	トヨタ自動車	85年	12兆409億円	68.7%	2018/3期
2	本田技研工業(ホンダ)	72年	2兆782億円	72.9%	2018/3期
3	パナソニック	100年	1兆3,797億円	31.2%	2018/3期
4	ソニー	72年	2兆6,870億円	75.3%	2018/3期
5	日産自動車	107年	2兆5,275億円	50.0%	2018/3期
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	69年	2兆3,630億円	31.3%	2018/3期
6	全日本空輸(ANA)	66年	7,965億円	42.2%	2018/3期
8	味の素	111年	3,651億円	36.9%	2018/3期
9	日清食品	70年	2,414億円	65.1%	2018/3期
10	サントリー	119年	6,896億円	31.6%	2017/12期
11	日本航空(JAL)	67年	9,930億円	55.3%	2018/3期
12	キヤノン	85年	1兆4,604億円	47.3%	2017/12期
12	東海旅客鉄道(JR東海)	69年	2兆9,299億円	33.6%	2018/3期
14	任天堂	129年	8,997億円	77.3%	2018/3期
15	TOTO	106年	2,193億円	56.6%	2018/3期
16	キッコーマン	100年	895億円	42.3%	2018/3期
17	資生堂	146年	3,347億円	57.4%	2017/12期
18	ブリヂストン	87年	1兆4,417億円	70.2%	2017/12期
18	日立製作所	108年	1兆5,355億円	38.0%	2018/3期
20	帝国ホテル	131年	560億円	72.6%	2018/3期

図表G 第5回「100年後も生き残ると思う日本企業」／ランキングベスト20(連結) 営業CF・投資CF5期平均

順位	企業名	創業年数	営業CF額	投資CF額	フリーCF額
1	トヨタ自動車	85年	3兆8,833億円	▲3兆5,925億円	2,908億円
2	本田技研工業(ホンダ)	72年	9,467億円	▲7,805億円	1,662億円
3	パナソニック	100年	4,603億円	▲2,597億円	2,006億円
4	ソニー	72年	8,464億円	▲8,913億円	▲449億円
5	日産自動車	107年	9,509億円	▲1兆1,714億円	▲2,205億円
6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	69年	6,431億円	▲5,101億円	1,330億円
6	全日本空輸(ANA)	66年	2,448億円	▲1,739億円	709億円
8	味の素	111年	1,074億円	▲1,008億円	66億円
9	日清食品	70年	350億円	▲275億円	75億円
10	サントリー	119年	1,362億円	▲1,314億円	48億円
11	日本航空(JAL)	67年	2,712億円	▲1,971億円	741億円
12	キヤノン	85年	5,314億円	▲2,950億円	2,364億円
12	東海旅客鉄道(JR東海)	69年	5,806億円	▲8,502億円	▲2,696億円
14	任天堂	129年	527億円	▲133億円	394億円
15	TOTO	106年	499億円	▲271億円	228億円
16	キッコーマン	100年	317億円	▲62億円	255億円
17	資生堂	146年	720億円	▲202億円	518億円
18	ブリヂストン	87年	4,634億円	▲1,306億円	3,328億円
18	日立製作所	108年	5,855億円	▲5,412億円	443億円
20	帝国ホテル	131年	61億円	▲40億円	21億円